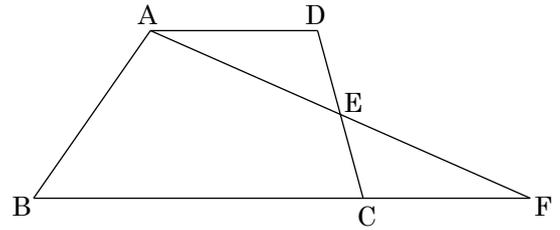


第1講座

中2 定期テスト対策①

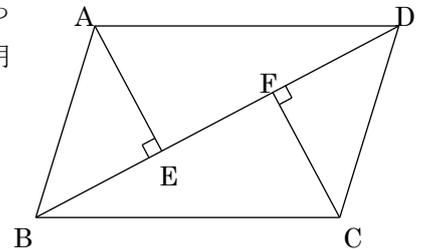
- 1 右の図のように、 $AD \parallel BC$ の台形 $ABCD$ がある。辺 DC の中点を E とし、線分 AE と辺 BC をそれぞれ延長して交わった点を F とする。このとき、 $AD = FC$ となることを証明しなさい。



(証明)

$\triangle AED$ と $\triangle FEC$ で、
辺 DC の中点が点 E だから、 $ED = EC$ …①
 $AD \parallel BC$ より、平行線の錯角は等しいから、 $\angle EDA = \angle ECF$ …②
対頂角は等しいから、 $\angle AED = \angle FEC$ …③
①、②、③より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle AED \equiv \triangle FEC$
よって、 $AD = FC$

- 2 右の図の平行四辺形 $ABCD$ について、対角線 BD に頂点 A 、 C からそれぞれ垂線 AE 、 CF をひく。このとき、 $AE = CF$ であることを証明しなさい。



(証明)

$\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ で、
平行四辺形の対辺は等しいから、 $AB = CD$ …①
仮定より、 $\angle BEA = \angle DFC = 90^\circ$ …②
 $AB \parallel CD$ より、平行線の錯角は等しいから、
 $\angle ABE = \angle CDF$ …③
①、②、③より、直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABE \equiv \triangle CDF$
よって、 $AE = CF$

